

令和8年度 八王子市立宇津木台小学校経営計画(概略) <地域運営学校>  
 「笑顔あふれる 自分も友達も大切にできる学校」

令和8年4月1日

校長 松丸 渉

法令・学習指導要領

東京都教育委員会教育目標

八王子市教育委員会教育目標 ビジョンはちおうじの教育

**【本校の教育目標】**

児童が国際社会をたくましく生きる力を身に付け、生涯学ぶ意欲と向上心を持ち続けることを目指し、次の児童像を掲げその育成に努める。

- 知 ○よく考え、すすんで学ぶ子〔学力の育成〕 自分の思いや考えを表現し、ねばり強く取り組む児童
- 徳 ○協力し、思いやりのある子〔豊かな心の育成〕 他者の気持ちを考えた思いやりの行動ができる児童
- 体 ○体をきたえ、ねばり強い子〔健康な体と心の育成〕 自ら進んで心身をきたえ、健康の保持増進に努める児童

すべての土台

**【目指す教師像】**

- 人権尊重の理念を尊重し、職務を真摯に遂行する教師
- 常に研究や修養に励み、学び続け自己を向上させ続ける教師
- 「子供たちのために何ができるか」を考え、子供たちの良さを引き出せる教師
- 組織の一員として学校運営に主体的に参画する教師

**【目指す学校像】 笑顔あふれる、自分も友達も大切にできる学校**

(1) 児童が成就感や満足感を味わえる学校

(2) 認め合い・励まし合い、高め合う学校

(3) 保護者・地域と協働し、地域の誇りとなる学校

(4) 連続性を大切にできる学校

(5) 一人一人を大切にできる学校

**令和8年度の主な取組**

**(1) 児童が成就感や満足感を味わえる学校にするために**

- 体育の授業改善を図り、年間を通した運動の日常化を進め体力の向上を図るとともに、健康についての知識理解・実践力を高めていく。
- 「久保山プロジェクト」を通して、「他者とのかかわりを通して、自分らしさに気づき、夢や目標に向かって自ら努力できる子を育てていく。
- GIGAスクール構想を踏まえ、ICTの効果的な実践を検討し、全学級の全児童が活用できるようにしていく。
- 地域の教材や人材を活用して、郷土学習の推進を図っていく。
- はちおうじっ子ミニマムに繰り返し取り組ませ、確実な習得を目指す。
- 2年生の九九検定を実施し、基礎・基本の定着を図る。
- より質の高い教科指導や中学校教育への円滑な接続、児童理解の促進に向け、高学年における教科担任制を実施する。
- 学習用端末を活用した自主学習など、家庭学習の充実を図る。

**(5) 一人一人を大切にできる学校**

- 特別の支援を必要とする児童について、個別の教育的ニーズに応じた支援を組織的かつ計画的に行う。
- 不登校児童・不登校傾向児童のためのサポートルームの充実を図り、組織的な対応を行う。
- 月一回の安全指導を実施し、自らの命を大切にできる意識を高めるとともに、年2回のアレルギー研修を行い、確実なアレルギー対応を行う。

**(2) 認め合い・励まし合い、高め合う学校にするために**

- たてわり班活動を通し、異学年交流など、様々な人間関係を学ばせ、自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育てる。
- 特別の教科 道徳では、多面的・多角的に物事を捉えられる授業や全教育活動を通して道徳的価値の自覚を促し、道徳的実践力を育てる。
- PBS(ポジティブ行動支援)の手法を取り入れた活動を、年間を通して行い、「自分も友達も大切にできる」心の育成を図り、支持的風土のある集団づくりをする。
- 「いのちの日」を設定し、SOSの出し方に関する授業やいじめ防止に関する授業を実践し、「いじめをしない、させない、ゆるさない」の徹底を図るとともに、いじめ対策委員会を毎週実施し、いじめの未然防止と早期発見・早期解決に組織的に取り組む。
- 特別支援学級との交流や共同学習や都立学校との副籍交流、特別支援教室(こみっきい)との連携を図り、障害に対する正しい理解と認識を深めさせる。
- 他国の言語や文化に触れるとともに我が国の伝統文化芸術を理解したりする国際理解教育を推進する。
- 毎月の生活目標に沿った、より良い生活習慣の定着化を図り、自らすすんでよりよい生活習慣を身に付けようとする児童を育成する。
- いじめ対策委員会、生活指導夕会、特別支援委員会等で児童理解を深め、いじめや暴力の根絶、不登校の対応に努める。

**(4) 連続性を大切にできる学校にするために**

- 石川中学校区グループでは、共通目標「石川地区の強みを生かし、社会的・職業的自立に向けて目的をもって行動できる。」「一生懸命学び続ける」「自ら考え、自信をもって行動できる」「人、物、時間を大切にできる。」を達成できるように、協働しながら切れ目なく教育活動を行う。
- 情報活用能力統計表を活用し、9年間を見通したICT活用に関する資質・能力の向上を図る。
- 保育園や幼稚園との連携を深め、架け橋期カリキュラムを活用し、1年生の不登校0を目指す。

**(3) 保護者・地域と協働し、地域の誇りとなる学校にするために**

- 久保山プロジェクトでは、地域の人材と協働しながら、キャリア教育の推進を行う。
- 学校運営協議会と地域・保護者が協働した学校運営を行い、放課後算数教室(わくわく・にこにこ)や漢字検定、図書ボランティア、読み聞かせ等を行う。
- 学校公開、道徳授業地区公開講座、学校便り、ホームページ、Home&Schoolによる積極的な情報提供を行う。
- 保護者や地域の方の思いや願いを受け止め、期待に応える学校改善に取り組む。